

浄化槽の上手な使い方

組み取りトイレやみなし浄化槽、下水道などを利用される家庭においても「上手な使い方」を心がけましょう。みんなで地球の水環境をまもることが大切です。

<h2>台所</h2> <p>調理くずや食べ残しは、ゴミや堆肥として処分を</p>  <p>調理くずや食べ残しは、三角コーナーにフィルター等をかぶせて回収し、ゴミとして処分又は堆肥作りに再利用するなど心がけましょう。</p>		<h2>お風呂</h2> <p>カビ取り剤は控えめに</p>  <p>カビ取り剤は浄化槽で汚水を元気に食べる微生物を殺してしまいますので、使用は控えめに。また、使用後は十分に水で洗い流して下さい。</p>					
<p>水環境のためにも流す際に十分ご注意ください</p> 	<p>調理器、食器は汚れをふき取ってから</p>  <p>フライパン等調理器に付着した油、食器や容器に残ったソースやドレッシングなどはキッチンペーパーなどで拭き取ってから洗いましょう。</p>	<p>入浴剤も控えめに</p>  <p>入浴剤は浄化槽に大きな影響はありませんが、使用は控えめにして下さい。ただし、風呂釜を痛める(腐食)イオウ成分の入浴剤は微生物に悪影響する場合がありますので使用は控えて下さい。</p>					
<p>使用済みの天ぷら油等は捨てないで</p>  <p>市販の油凝固剤を使用するか、新聞紙などにしみ込ませるなど、ゴミとして処分して下さい。</p>	<p>米のとぎ汁は捨てずに</p>  <p>庭や植木に適量を散布すると、水やりと栄養分になります。</p>	<p>汁物はできるだけ流さない</p>  <p>味噌汁、煮汁、酒やビールなどはできるだけ流さないように心がけましょう。</p>	<p>残り湯は少量ずつ排水しましょう</p>  <p>排水のためのゴム栓を斜めにして少量ずつ流すように心がけましょう。</p>				
<h2>洗濯</h2> <p>塩素系の漂白剤は、できるだけ浄化槽に流入させないでください</p>  <p>微生物が衰弱・死滅する場合があります。処理機能が低下してしまいます。</p>		<p>洗濯の回数は、少なくするように心がけましょう</p> 		<p>洗剤は計量カップで適量使いましょう</p>  <p>余分な洗剤は、ろ材・担体の閉塞や槽内で発泡するなど機能障害を起こす原因となります。</p>		<p>残り湯は洗濯などに利用しましょう</p>	
<h2>トイレ</h2> <p>トイレトーパーは、専用のものを適量で使用してください</p>  <p>多量に使用すると、つまりの原因や浄化槽の清掃時期が早まります。水に溶けにくい紙(便座除菌ペーパー等)、生理用品、衛生用品、紙おむつ、たばこの吸い殻等は流さないでください。</p>		<p>便器の清掃にもご注意ください</p>  <p>ぬるま湯や中性洗剤を使用し、酸性・アルカリ性の強い洗剤等は使用しないでください。</p>		<h2>その他</h2> <p>送風機(プロフ)の電源は絶対に切らないでください</p>  <p>好気性微生物(バクテリア)の衰弱や死滅、空気を利用した機能が停止し、水質の悪化や臭気発生の原因となります。</p>		<p>浄化槽の上部には物を置かないでください</p>  <p>保守点検・清掃の支障となり、十分な維持管理ができなくなります。</p>	

洗濯・風呂・台所の排水は、時間をずらして流しましょう。

浄化槽へ短時間に多量の汚水が流入すると、槽内に貯留した汚泥等の流出や処理工程の時間が足りず放流水の水質悪化や悪臭が発生する等の原因になります